防災講習会の講師派遣を申請される団体の皆さまへ

彦根市では、自助・共助の取組が活発化し、地域の防災力が高まるよう、希望される団体に防災講習会の講師を派遣しています。派遣する講師は市内でご活躍されている防災士など市がお願いする講師です。

本事業が継続でき、多くの団体の皆さまが防災講習会をきっかけに防災意識を持っていただけるよう、以下の点についてご協力をお願いします。

申請にあたって

・1自治会（防災組織）につき、原則1年度1回の派遣とします。
・1回の講習会は1時間～1時間30分です（講習メニューによって異なります）。
・講師派遣が可能な時間帯は、原則、平日・休日の午前9時から午後5時までです。
・あらかじめ、希望する講習メニューの検討をお願いします。
・申請時に開催場所の住所をご記入いただきます。自治会館等で開催する場合は、住所を事前にお調べください。住所が分からない場合は地図等でお示し願います。

資機材等について

・講習会で必要な資機材（机、椅子、電源、講習で使用する模造紙等）は、主催団体にてご準備をお願いします。

派遣する講師との調整について

講師派遣申請の内容（連絡先含む）については、彦根市から講師にお伝えしますが、より良い講習会にするため、以下の点についてご協力をお願いします。

・講習会の1週間前までを目途に、講師から連絡責任者の方へ連絡します。
その際、講習会の日時、開催場所、駐車場所、当日の進行、講習内容の詳細等について、講師との連絡・調整をお願いします。
※講師との事前面談や講習会にかかる検討会議への出席等の希望には添いかねます。
・原則、講習用の配布資料はありません。配布資料が必要な団体は、申請時に市職員へご相談願います。

受講時の注意事項

・派遣する講師は、防災士など市がお願いする講師です。質問ではない市への意見・提言は控えてください。
・講習の妨げになる行為、講師に対する誹謗中傷があった場合、次回以降、講師派遣をお断りすることがあります。

受講アンケートのお願い

・防災講習会の開催後、団体の代表者(1名)は、講習会に関するアンケートのご協力をお願いします。

アンケートは 「彦根市電子申請サービス」からご回答ください。

彦根市電子申請サービス「防災講習会アンケート」
https://apply.e-tumo.jp/city-hikone-u/offer/offerList_detail?tempSeq=1282

←こちらのQRからもアンケートに回答できます。

問合せ先：市危機管理課　TEL：0749-30-6150　FAX：0749-23-1777

防災講習会講師プロフィール

令和7年4月

大宮　尚美（おおみや　なおみ）

所属：NPO法人日本防災士会滋賀県支部 会員
任意団体「たすけあい鳥居本」会員

経歴：令和4年11月防災士認証。令和5年度から日本防災士会滋賀県支部に所属。主に応急手当普及活動と子どもの防災に携わりながら自己研鑽に励む。
約26年間、看護師として高齢福祉の仕事に従事。このうち7年間は介護支援専門として、高齢福祉の仕事に従事した。

ＰＲ：防災士の勉強を始める前から地域コミュニティの大切さについて考えていました。特に大規模災害発生時には地域の力が命を守る行動の要を果たします。地域コミュニティの大切さに気付いていただき、さらには地元での課題を整理してもらうきっかけになるような講習会にしたいです。
講習会では、一方向ではなく、時間配分を工夫してワークショップなど意見交換の場を取り入れるなど工夫したり、防災士会で実践している手法を取り入れた子どもも学べるプログラムを提供したいです。
また、看護師として高齢者福祉の仕事に携わってきた経験をもとに、避難生活で発生する様々な健康上の問題について勉強できる機会となればと考えています。平時から備えておきたいことについて、避難の際に必要な携行品などを含めてお伝えできればと思います。

小野　夏珠乃（おの　かずの）

所属：NPO法人日本防災士会滋賀県支部 副支部長
滋賀県防災会議委員
日本赤十字救急法指導員
滋賀県防災支援赤十字奉仕団所属
応急手当普及員
鳥居本学区自治連合会　防災危機管理部部長

経歴：・災害時の備えについての講習、防災グッズ作り。
・しがマイ・タイムライン講習（小・中・高での授業と自治会行事など）。
・子ども防災、親子で学ぶ防災（体験型：自治会、鳥居本ウイークエンドクラブ、大津市市民活動センター、児童館など）。
・ボランティアセンター開設訓練（滋賀県社協・大津市社協・彦根市社協）。
・被災地でのボランティア活動（岡山県真備町・長野県・福島県・福知山市・京都府・石川県（輪島・七尾）他）。
・救命講習（小児、乳幼児含む）、搬送、けがの手当てなどの実技。

ＰＲ：経験した各被災地でボランティア活動の話しや、防災、備えについての出前講座をしてきました。新しい情報をお伝えできるように情報を収集するとともに、ワークショップ型の講習も取り入れて皆さんと楽しく進めていきます。
また、親子で学ぶ防災として、体を動かしながら考え学べる取り組みも行っています。

笠原　恒夫（かさはら　つねお）

所属：滋賀県地域防災アドバイザー（滋賀県から委嘱）
滋賀県自主防災組織リーダー・防災士養成講座講師
一般財団法人 日本防火・防災協会　防火管理講習会　認定講師
彦根市防災会議委員
彦根市国民保護協議会委員
彦根市人権のまちづくり懇談会講師（彦根市人権政策課から委嘱）
NPO法人日本防災士会滋賀県支部 副支部長

経歴：平成24年4月から彦根市の防災出前講座の外部講師として防災活動を開始、これまで年間約80件、12年で900件を超える講習会等に出講。
平成30年からは消防法に基づく防火管理講習会の講師を務め現在に至る。
さらに、令和4年から滋賀県の地区防災計画策定支援事業に参画し、県内各地の地区防災計画の策定に係るアドバイザーとして活動している。

ＰＲ：防災で「自助」が最も重要、災害の発生で自らが怪我をしない、つまり助ける側に居続けること。全員が自助を徹底すれば、人的被害はゼロになります。

間　文彦（はざま　ふみひこ）

所属：NPO法人日本防災士会滋賀県支部 湖東ブロック長

経歴：聖泉大学地域連携交流センター長（8年間）
彦根市下水道審議会（6年間）委員
彦根市地域福祉推進委員会 委員

ＰＲ：聖泉大学地域連携交流センター長のときは、彦根市機能別消防分団を結成し、活動してきました。
彦根市防災訓練には、7年間、同センター長として学生とともに参加してきました。
彦根市地域福祉推進委員会に所属していた際には、彦根市地域福祉活動計画第2次計画実践取り組み「②災害に強い地域づくり「防災力・対応力アップ リーダー」として地域福祉に関する活動にも取り組んでいます。

看護師の視点として、災害時の備蓄品・非常持出品の必要な考え方等もお伝えできればと思います。

例）高齢者、特に持病をお持ちの方、服用薬・お薬手帳、障害者への配慮（精神障害・身体障害・知的障害）